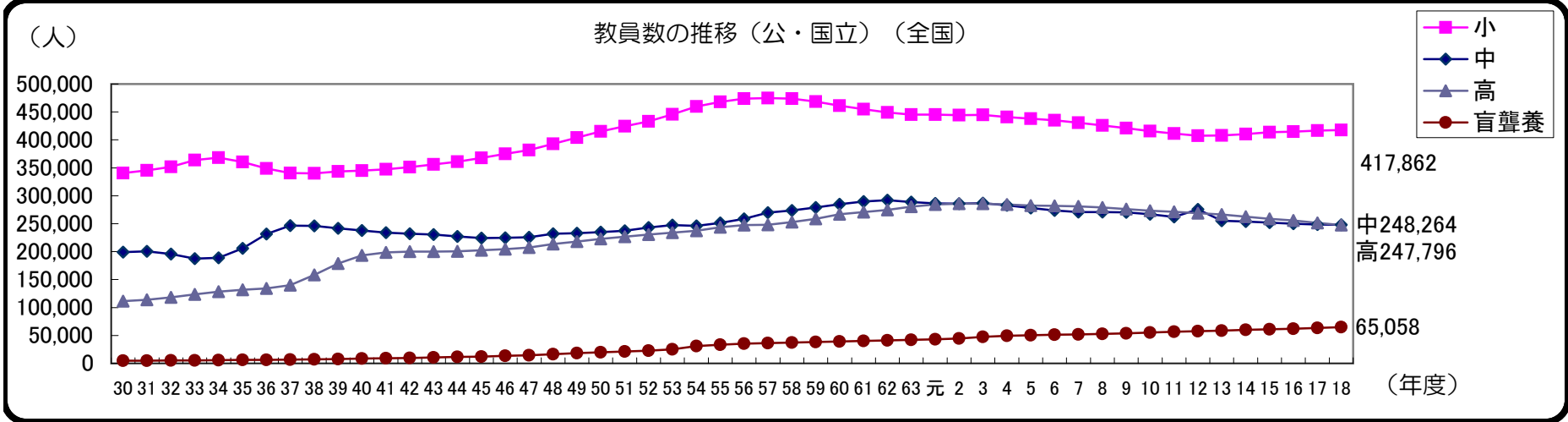
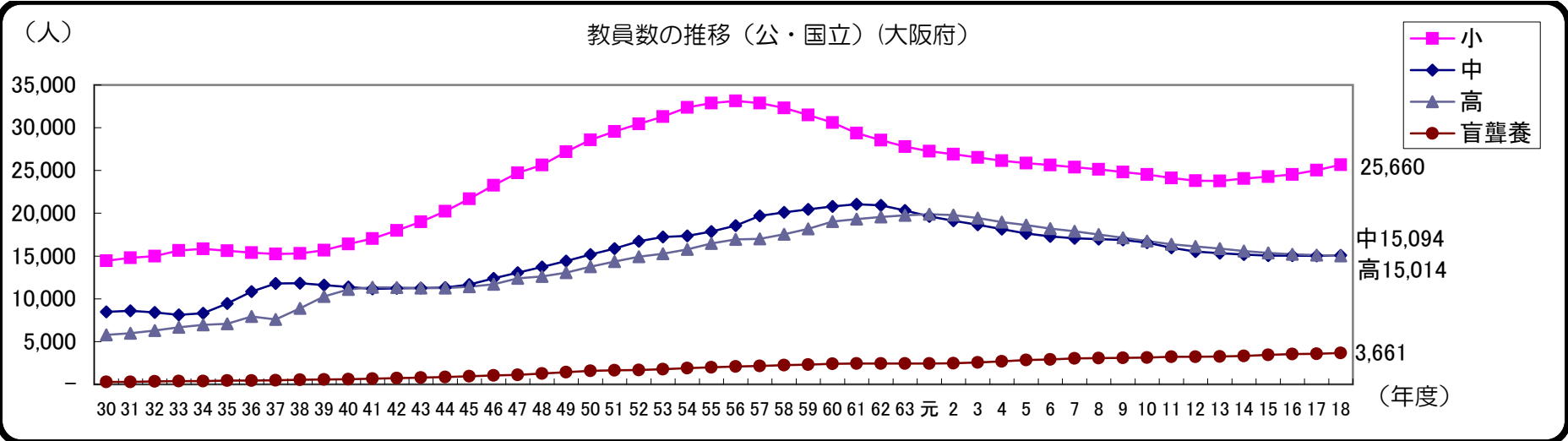


Ⅲ 学校運営をめぐる状況

Ⅲ－ 1. 教職員の状況 － (1) 教員数の推移

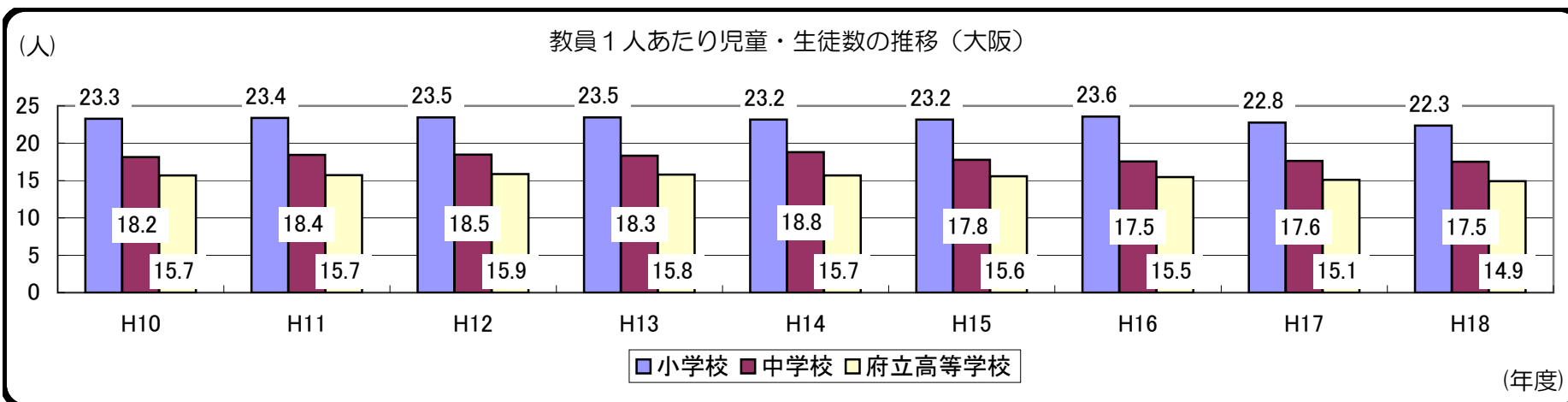
大阪府の教職員数は児童・生徒数の急増期に増加。その後、減少するが、小学校では近年増加に転じている。
 盲・聾・養護学校の教職員数は平成元年以降、毎年2%程度の増加。



(参考資料) 大阪府「学校基本調査」
 ※ 教員には、校長、教頭、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭を含む

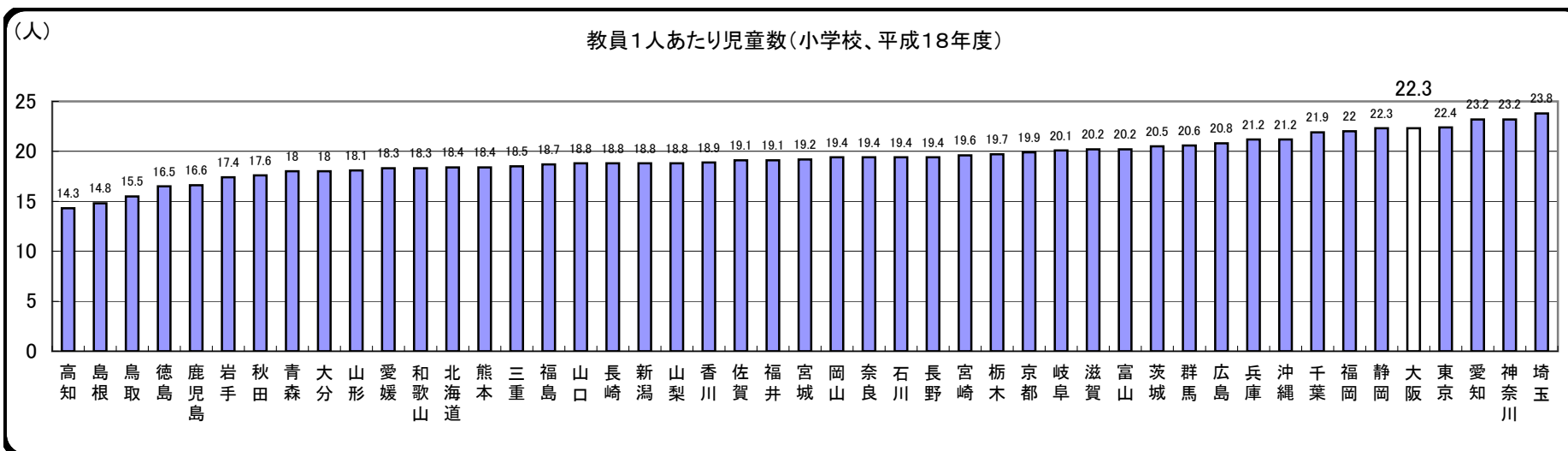
Ⅲ－ 1. 教職員の状況 － (2) 教員1人あたりの児童生徒数の推移 ①大阪府

大阪府の教員1人当たり児童・生徒数は、小・中・高では横ばい。
全国の中では、小学校における教員1人あたりの児童数は多い。



(参考資料) 文部科学省「学校基本調査」

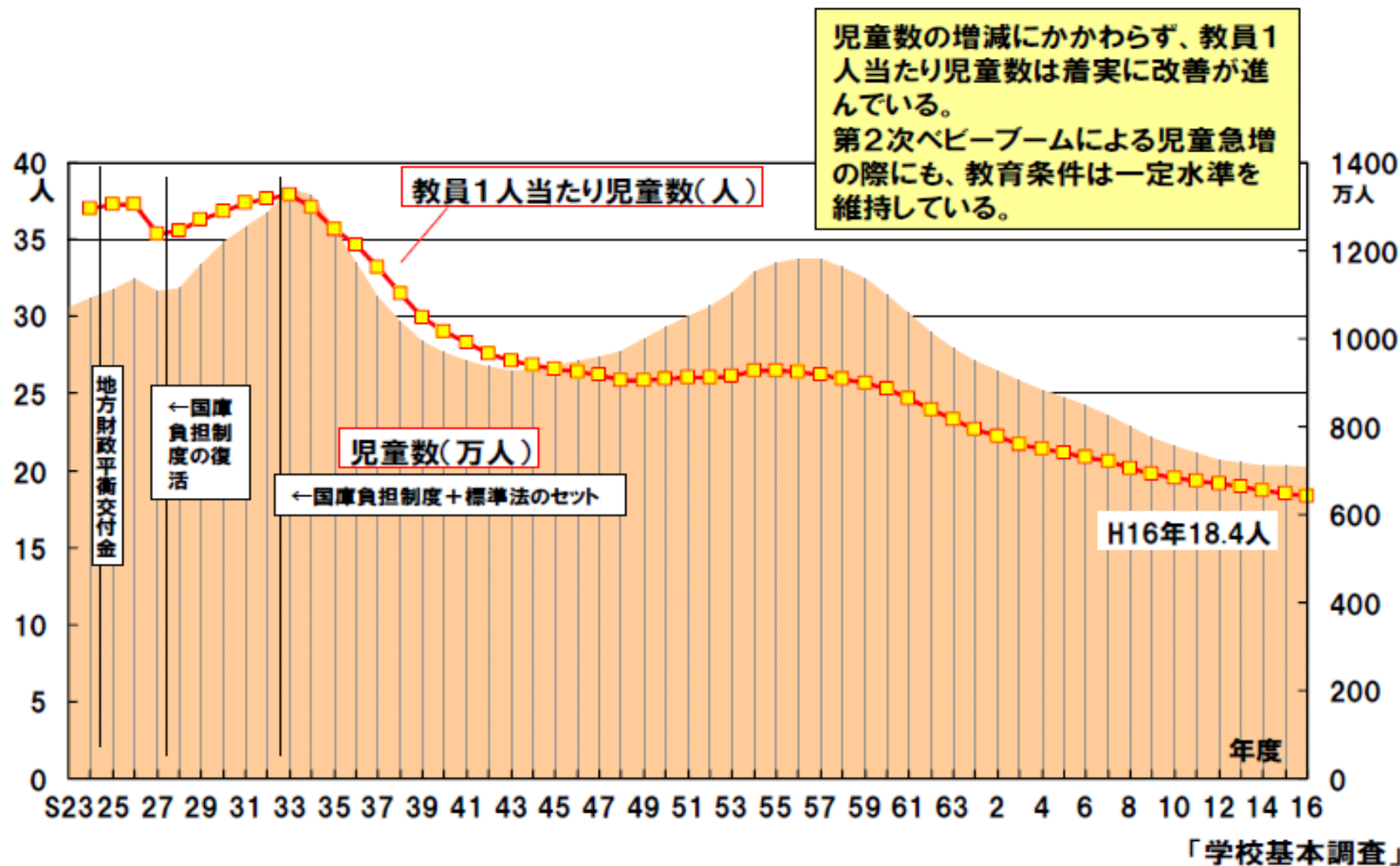
※小中は、公立(政令市含む) 高校は府立学校全日制、定時制
※ここでいう教員とは、教諭、助教諭、講師の合計



(参考資料) 文部科学省「学校基本調査」

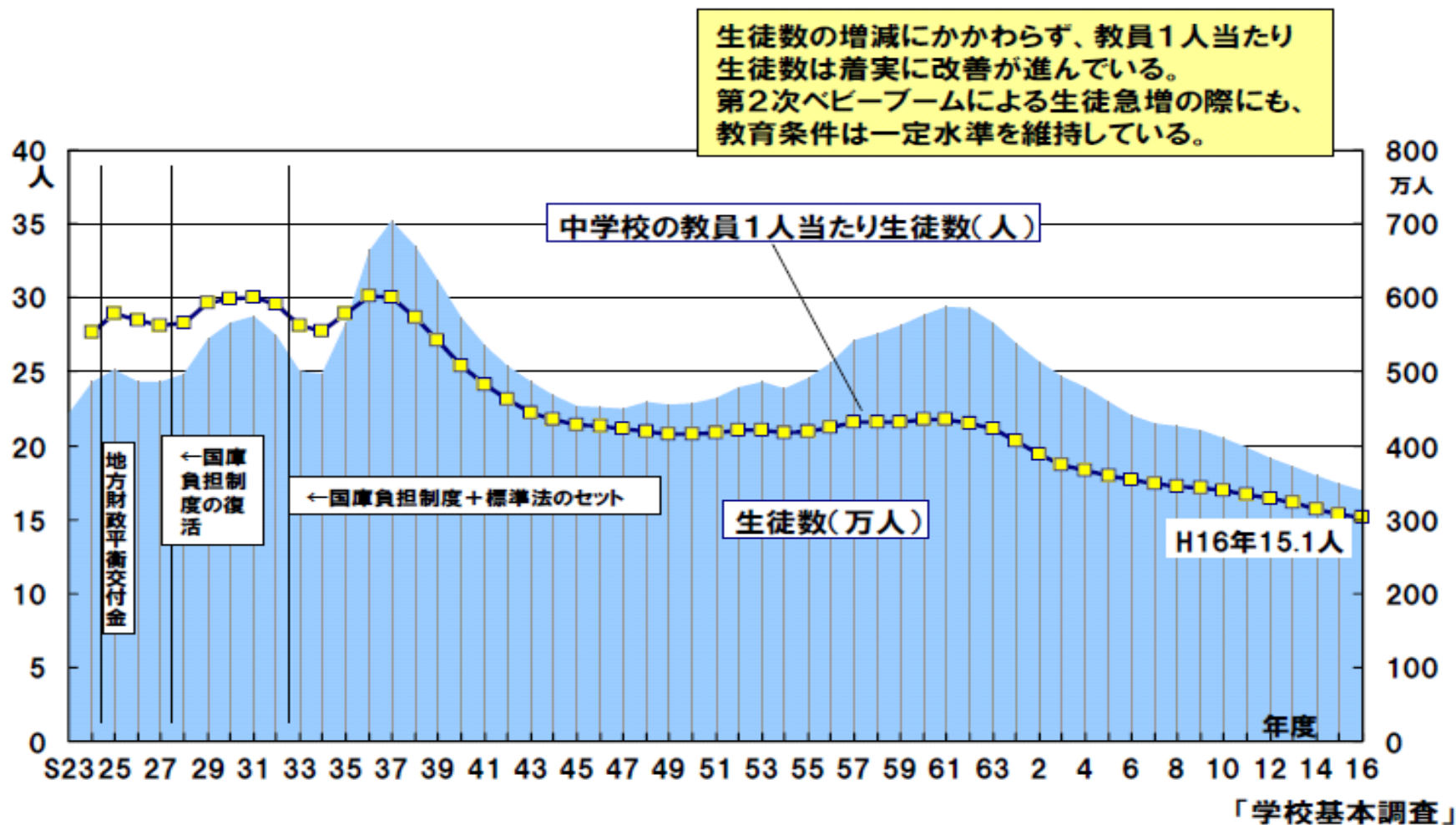
※小中学校は、各都道府県の公立学校の数値
※ここでいう教員とは、教諭、助教諭、講師の合計

小学校の教員1人当たり児童数 [推移]



(参考資料) 文部科学省「学級編制及び教職員定数に関する資料」(全国数値)

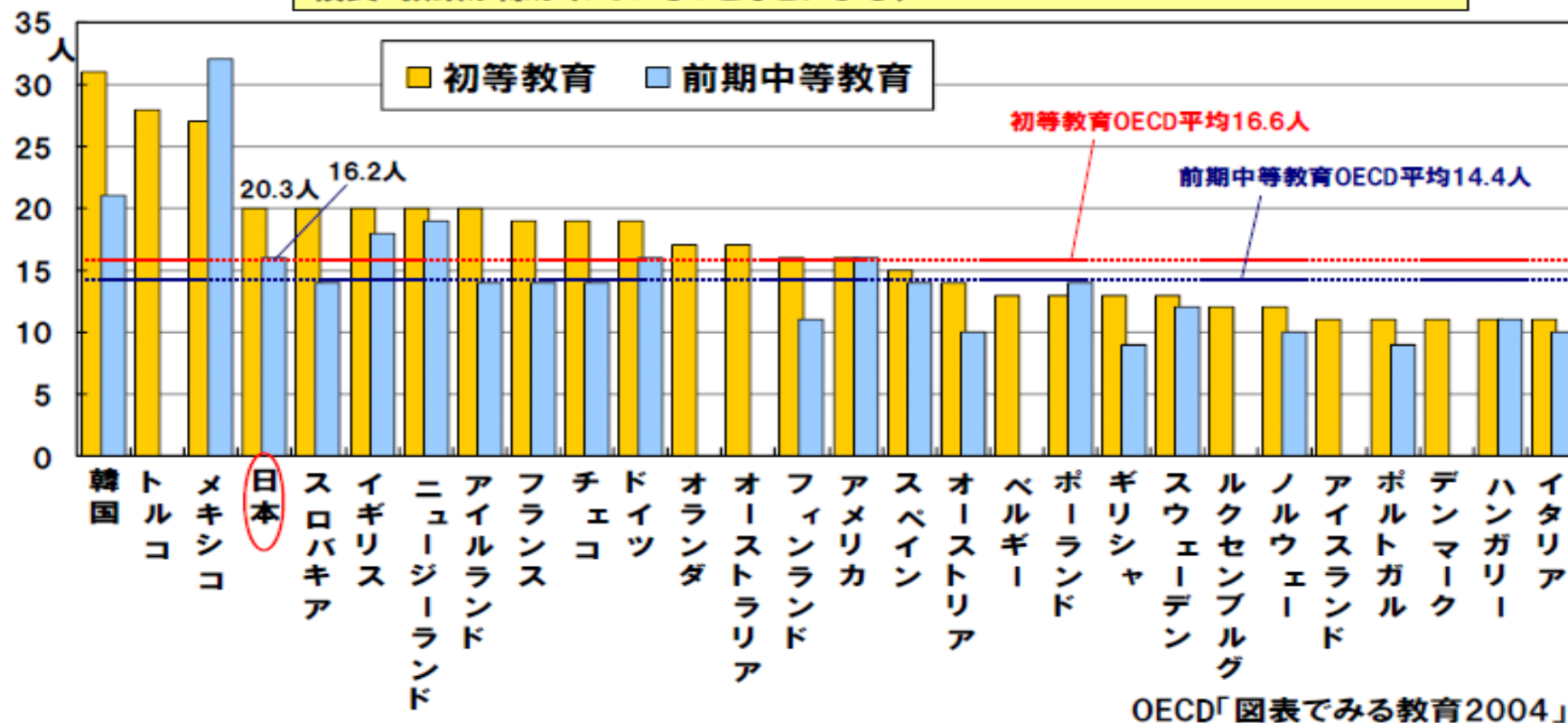
中学校の教員1人当たり生徒数 [推移]



(参考資料) 文部科学省「学級編制及び教職員定数に関する資料」(全国数値)

教員1人当たり児童生徒数 [国際比較]

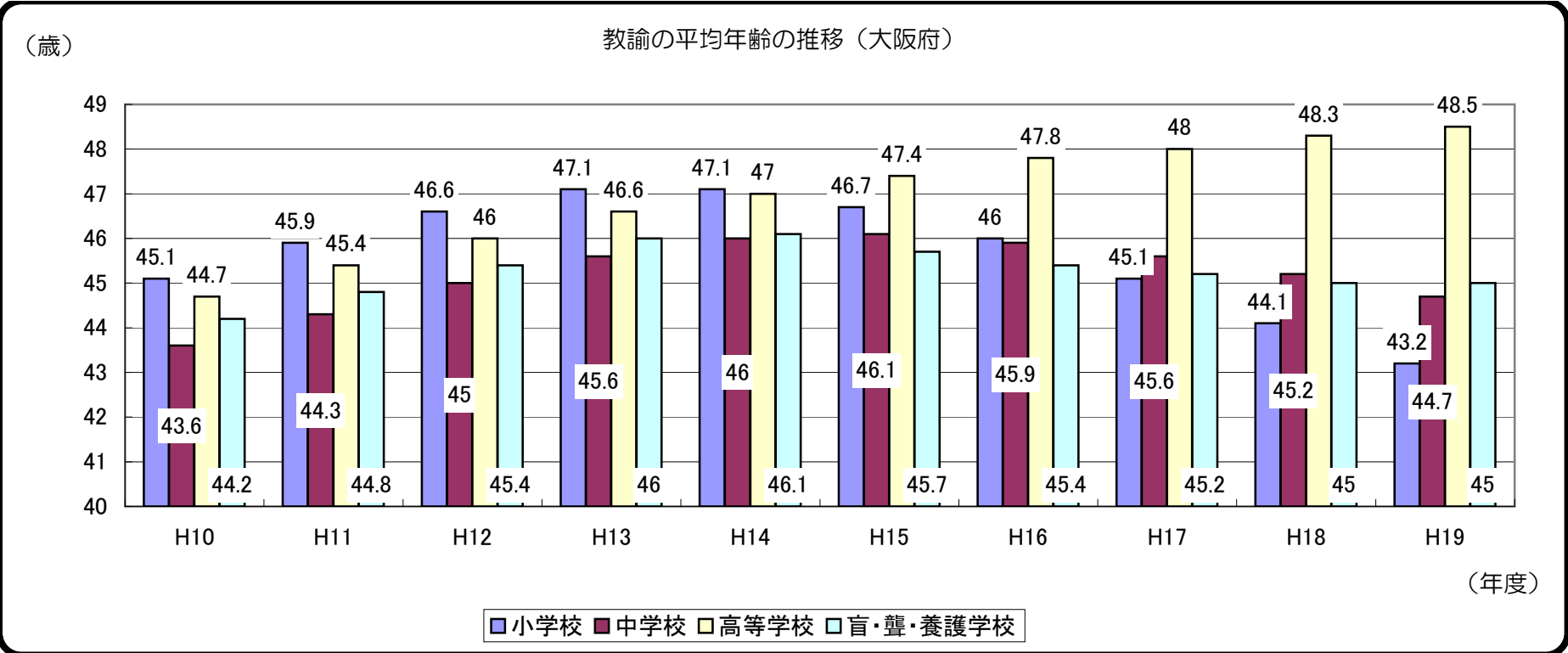
国公立学校での教員1人当たり児童生徒数(2002年)は、初等教育20.3人、前期中等教育16.2人であり、OECD平均を上回っている。
 (日本の数値が、学校基本調査と異なっているが、これは各国間の比較において、校長・教頭が除かれていることなどによる)



(参考資料) 文部科学省「学級編制及び教職員定数に関する資料」(全国数値)

Ⅲ－ 1. 教職員の状況 － (3) 教諭の平均年齢の推移

大阪府の教諭の平均年齢は、平成19年度で小学校が43.2歳、中学校は44.7歳、高等学校は48.5歳、盲・聾・養護学校で45.0歳、高等学校は上昇傾向が続く。



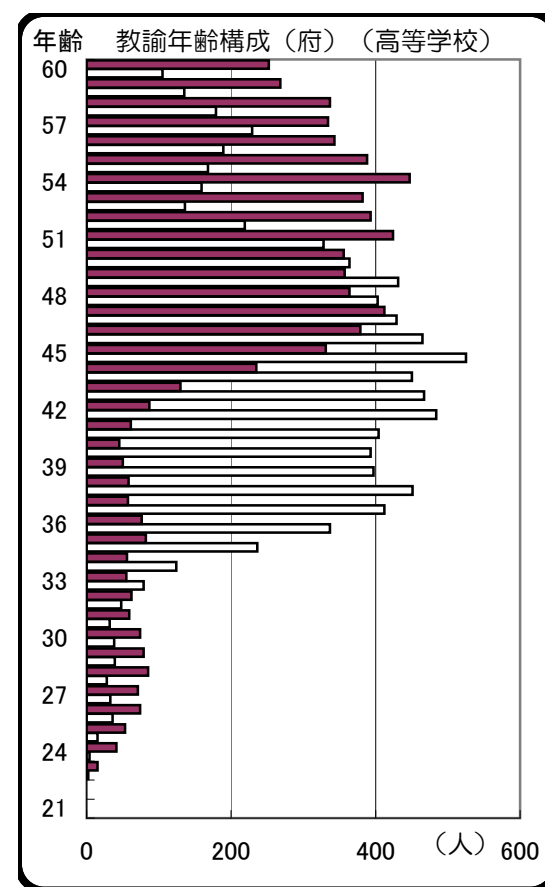
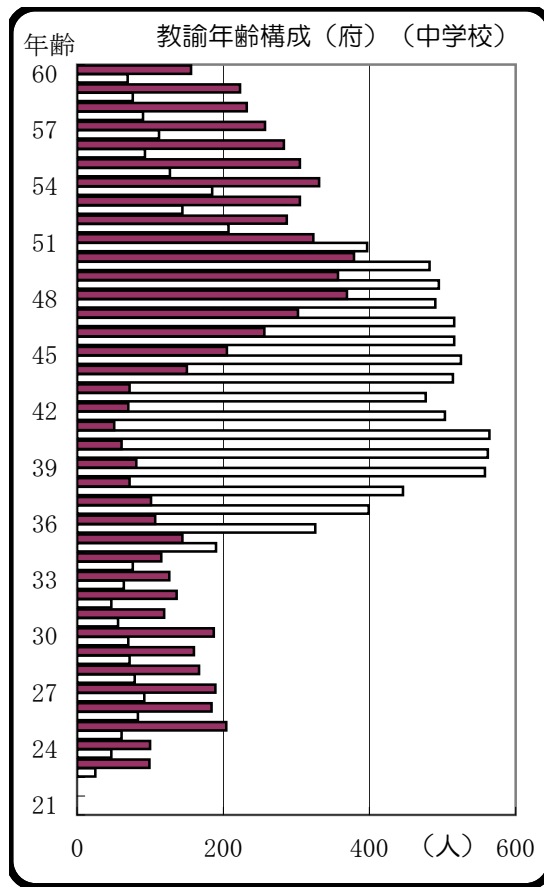
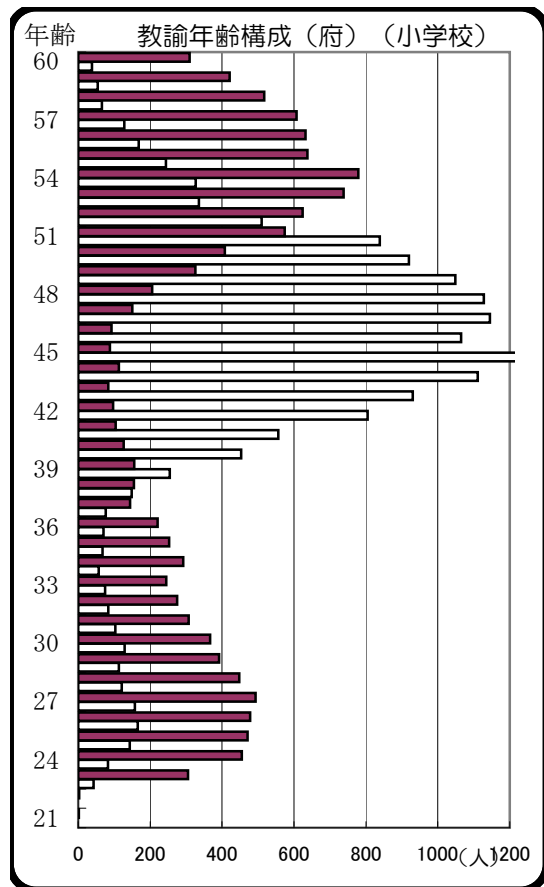
平均年齢の推移

	小学校		中学校		高等学校		盲・聾・養護学校	
	全国	大阪	全国	大阪	全国	大阪	全国	大阪
H10年度	41.8	45.1	40.4	43.6	42.7	44.7	-	44.2
H13年度	43.4	47.1	41.8	45.6	43.6	46.6	-	46.0
H16年度	44.1	46.0	43.0	45.9	44.2	47.8	-	45.4
H19年度	-	43.2	-	44.7	-	48.5	-	45.0

(参考資料) 文部科学省「教育基本調査」(全国数値)
 ※大阪府教育委員会調べ
 ※大阪府は教諭、全国は教員 ※大阪府については政令市を除く

Ⅲ－ 1. 教職員の状況 － (4) 教諭の年齢構成 (大阪府)

大阪府の教諭の年齢構成は、50歳以上が約半数を占める。
 今後、概ね10年～15年間、大量退職が続く。



※教諭の平均年齢 (歳)

	小学校	中学校	高等学校
H10年度	45.1	43.6	44.7
H19年度	43.2	44.7	48.5

※50歳以上の教諭の割合

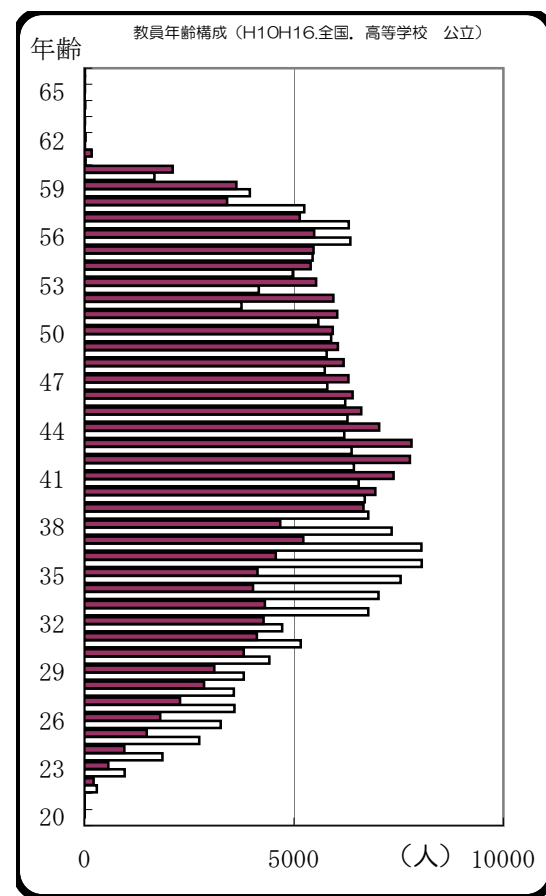
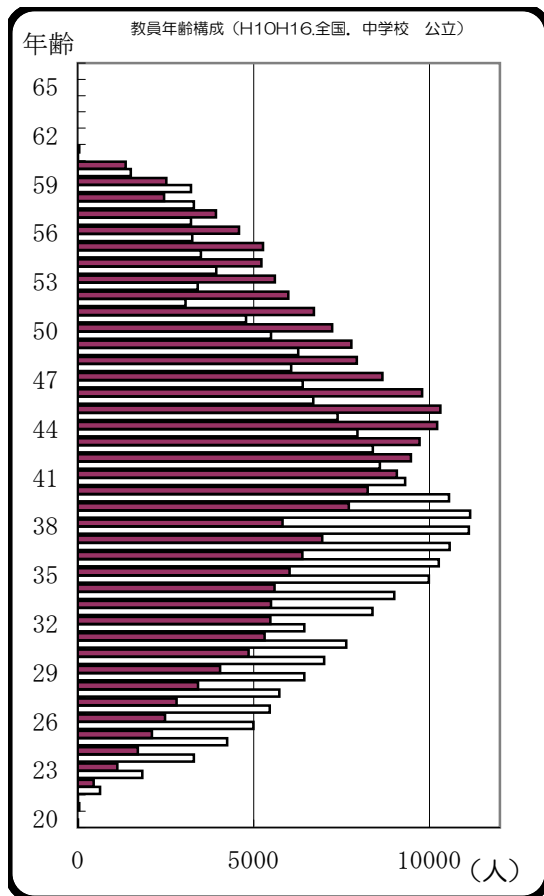
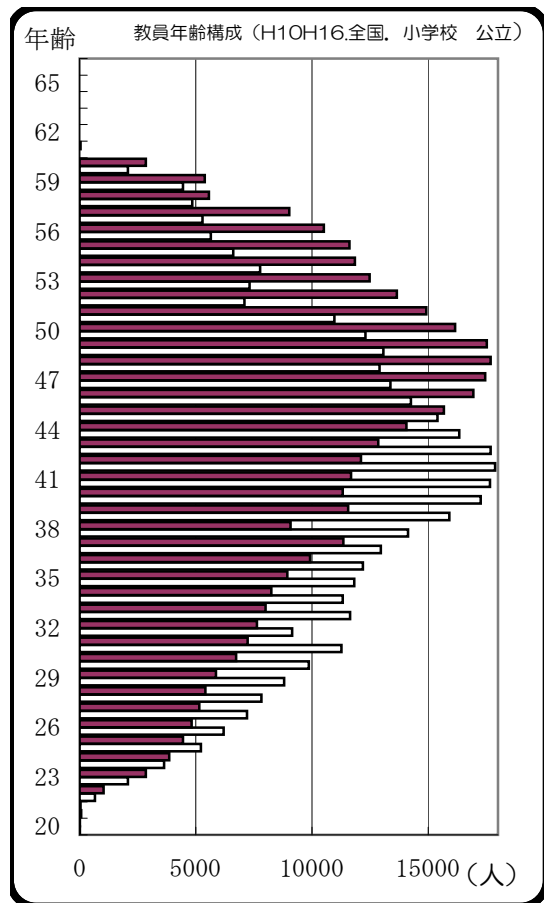
	小学校	中学校	高等学校
H10年度	24.2%	20.2%	24.6%
H19年度	47.7%	42.4%	53.2%

□ H10年度
 ■ H19年度

※大阪府教育委員会調べ
 ※公立の数値 (小中については政令市を除く)

Ⅲ－ 1. 教職員の状況 － (4) 教諭の年齢構成 (全国)

全国の教員の年齢構成は30歳から50歳が多い構造。



※教員の平均年齢 (歳)

	小学校	中学校	高等学校
H10年度	41.8	40.4	42.7
H16年度	44.1	43.0	44.2

※50歳以上の教員の割合

	小学校	中学校	高等学校
H10年度	19.0%	16.1%	26.5%
H16年度	29.7%	23.2%	29.9%

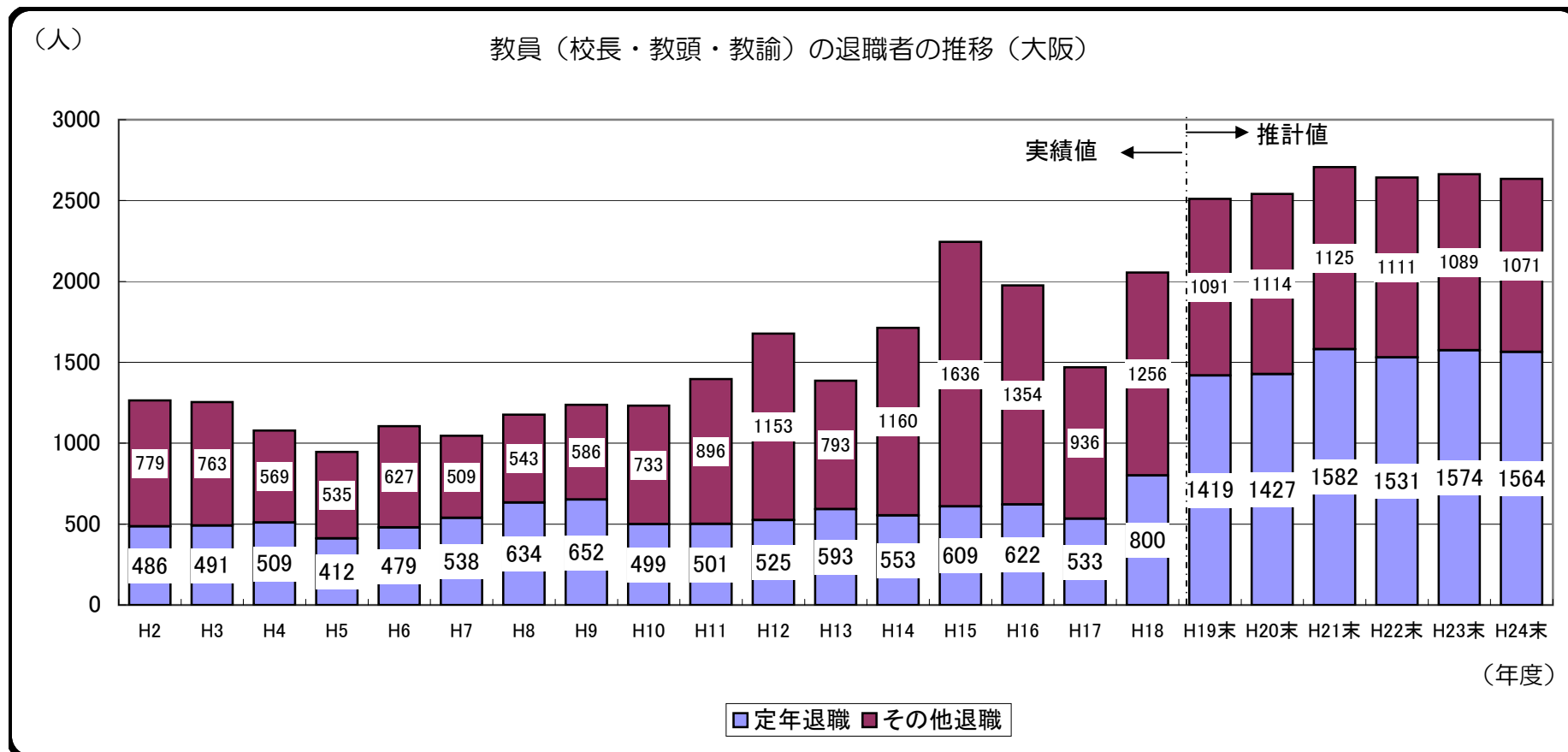
□ H10年度
■ H16年度

(参考資料) 文部科学省「学校基本調査」

※教員には、校長、教頭、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭を含む

Ⅲ－ 1. 教職員の状況 － (5) 退職者の推移

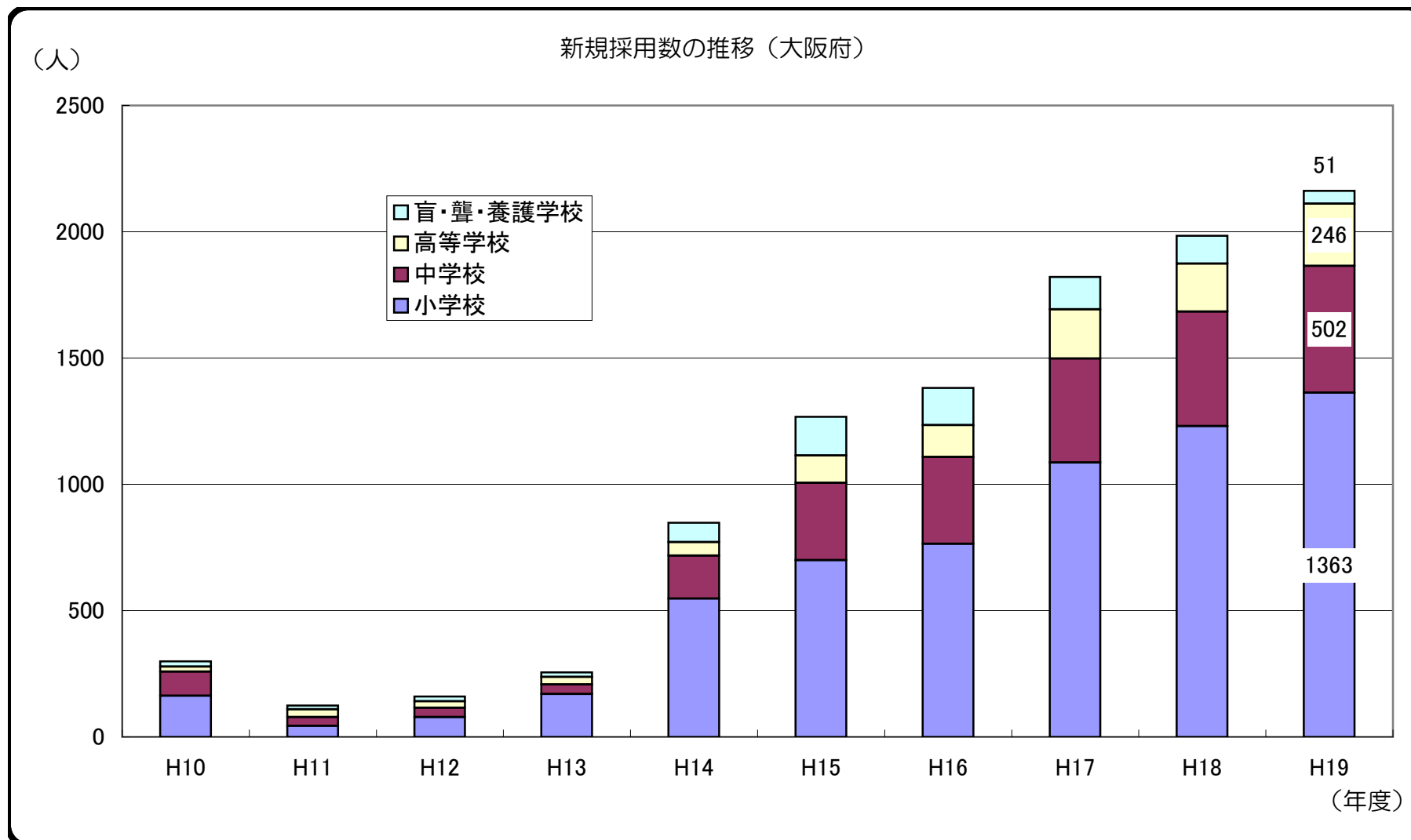
平成19年度以降定年退職はこれまでの約2倍の大量退職が続く。



※大阪府教育委員会調べ
 ※年度間退職を含む（実績）
 ※公立の小・中（政令市を含む）、府立高、盲・聾・養護学校、工専の合計
 ※その他退職は特別退職、普通退職等である 普通退職には、死亡退職を含む

Ⅲ－ 1. 教職員の状況 － (6) 新規採用数の推移

教員の新規採用数は、退職者数の増加及び小学校の児童数増に伴い増加。

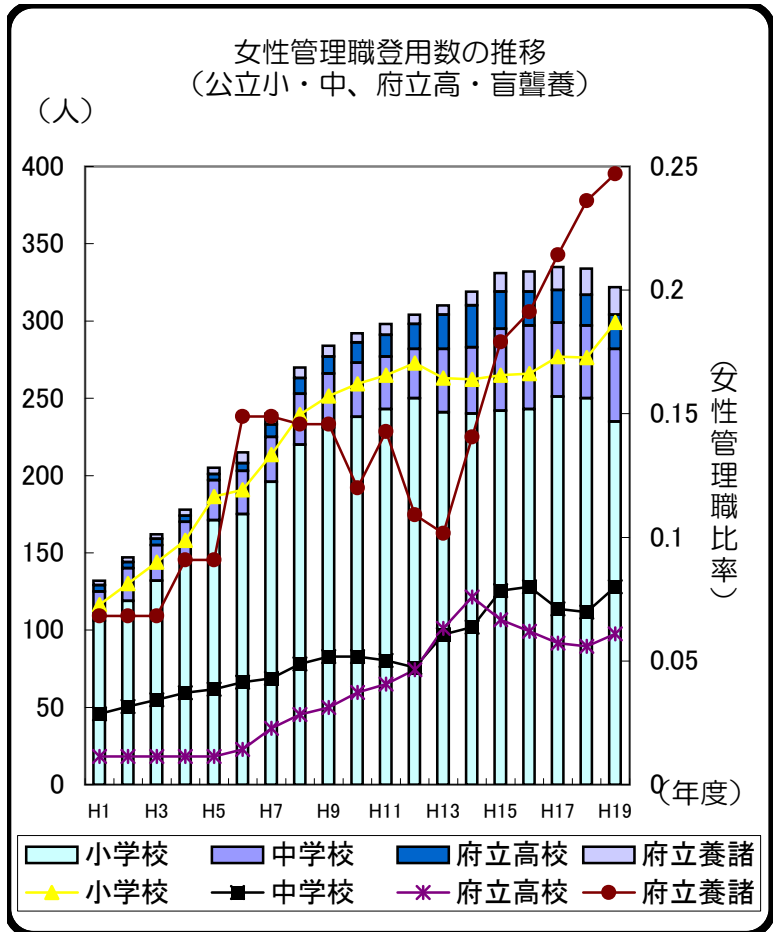
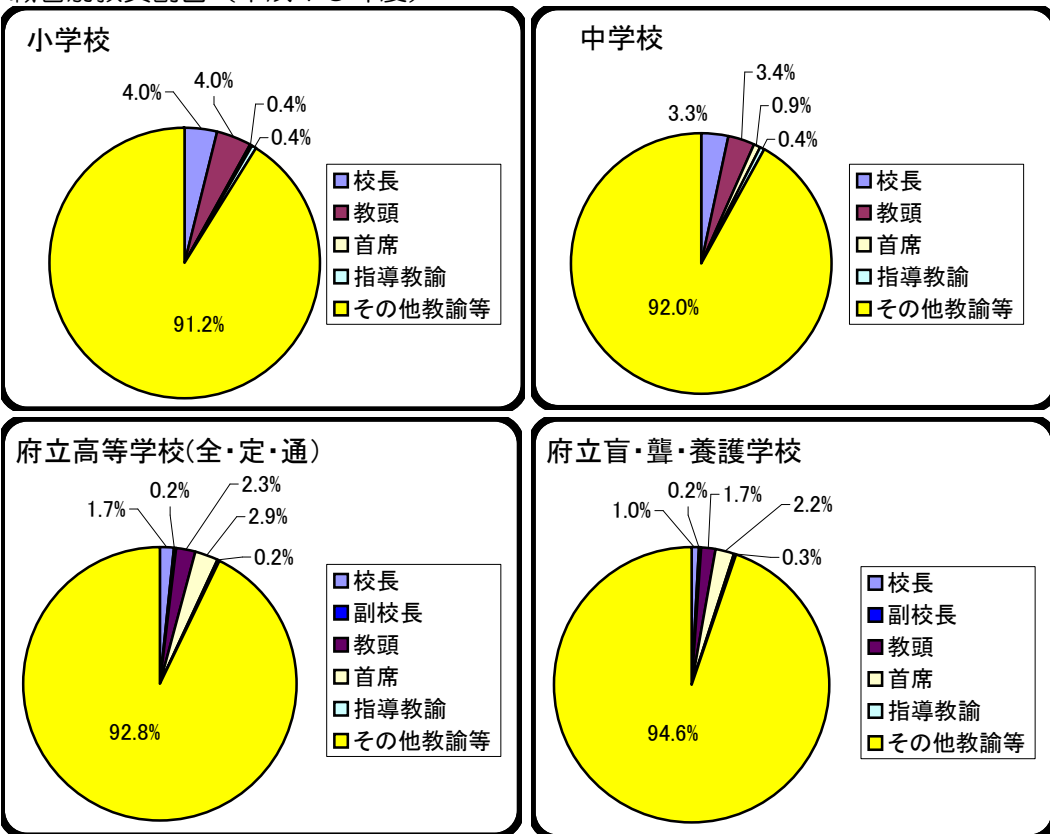


※大阪府教育委員会調べ
 ※小、中は公立(大阪市を除く) ※高、盲・聾・養は府立及び衛星都市立 ※H19は合格者数

Ⅲ－ 1. 教職員の状況 － (7) 職名別教員割合・女性管理職登用数

大阪の公立学校における管理職の比率は約3～8%。
大阪府の管理職のうち女性が占める割合は上昇しており、平成18年度で約24%。

職名別教員割合（平成19年度）



副校長、首席、指導教諭の配置状況

	学校数	副校長		首席		指導教諭	
		配置人数	配置校数	配置人数	配置校数	配置人数	配置校数
公立小学校	1,018	—	—	97	97	94	94
公立中学校	462	—	—	127	127	60	60
府立高等学校(全・定・通)	161	16	15	245	136	18	15
府立盲・聾・養護学校	25	5	5	60	23	7	7

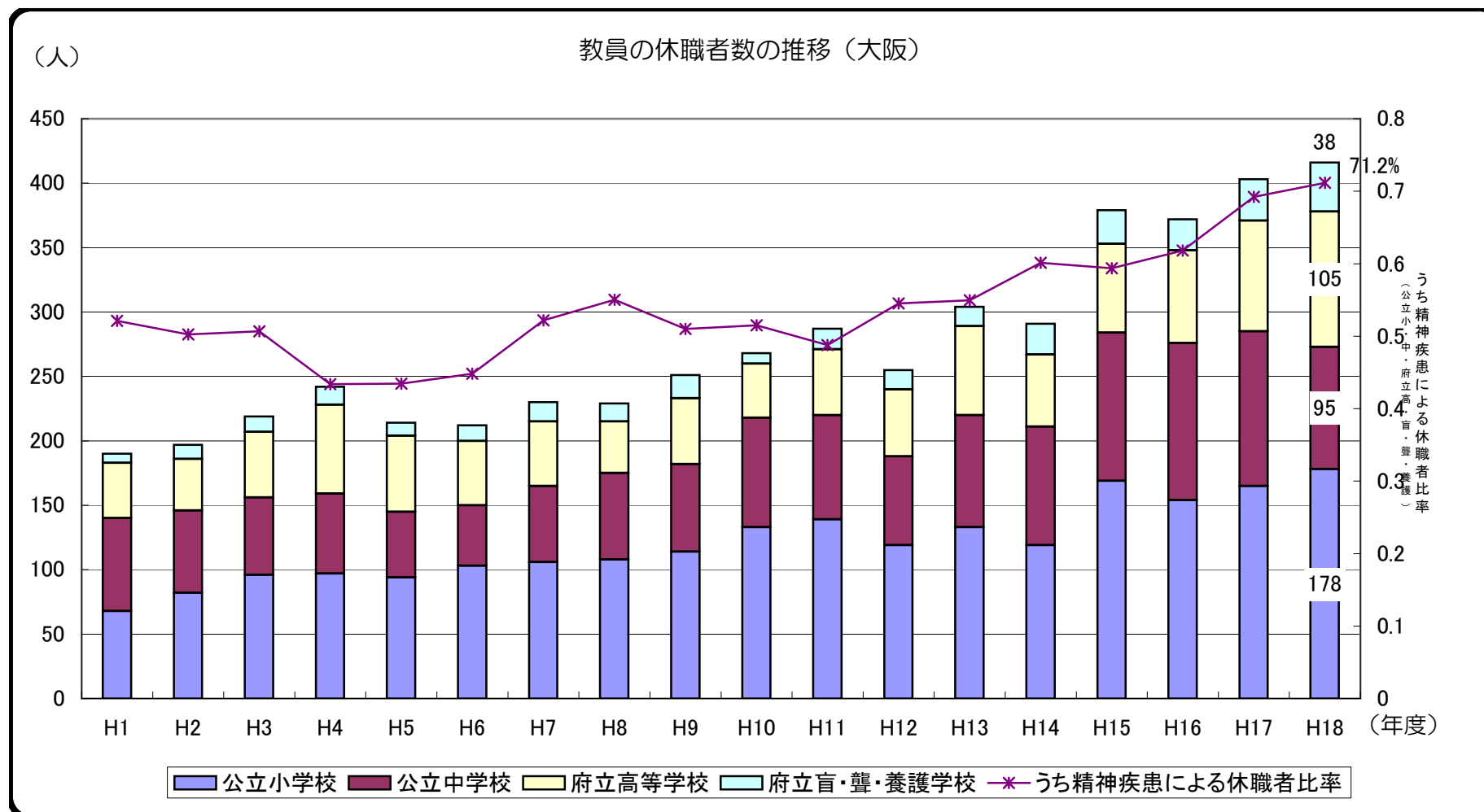
(参考資料) 大阪府「大阪の学校統計」、大阪府教育委員会調べ

※ 教諭等は教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師 ※小・中学校は大阪市、堺市含む

※大阪府教育委員会調べ
※管理職は校長及び教頭を指す

Ⅲ－ 1. 教職員の状況 － (8) 教員の休職者の状況

教員の休職者数は増加している。精神疾患による休職者比率は増加傾向。



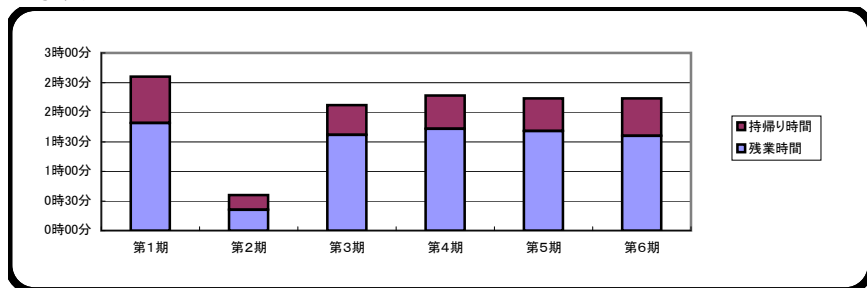
※大阪府教育委員会調べ
 ※校長、教頭、教諭、養護教諭の休職者数の合計である。
 ※公立の数値（小・中学校は大阪市分を除く）（平成18年度は大阪市、堺市を除く）

Ⅲ－ 1. 教職員の状況 － (9) 教員の残業時間の状況

全国の教員の1日あたりの平均残業、持帰り時間は、概ね2時間超（夏休み期間中を除く）。

教員の勤務日・1日あたりの平均残業時間量・持帰り時間量（全国）

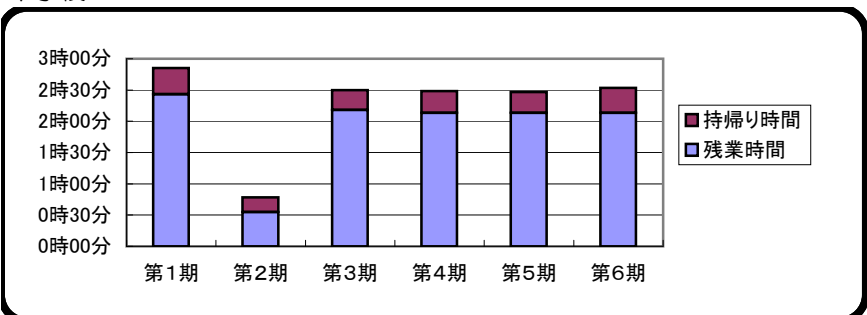
小学校



第1期 (7/3~7/30) 第2期(7/31~8/27) 第3期 (8/28~9/24) 第4期 (9/25~10/22) 第5期 (10/23~11/19) 第6期 (11/20~12/17)

時間:分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
残業時間	1:49	0:21	1:37	1:43	1:41	1:36
持帰り時間	0:47	0:15	0:30	0:34	0:33	0:38
計	2:36	0:36	2:07	2:17	2:14	2:14

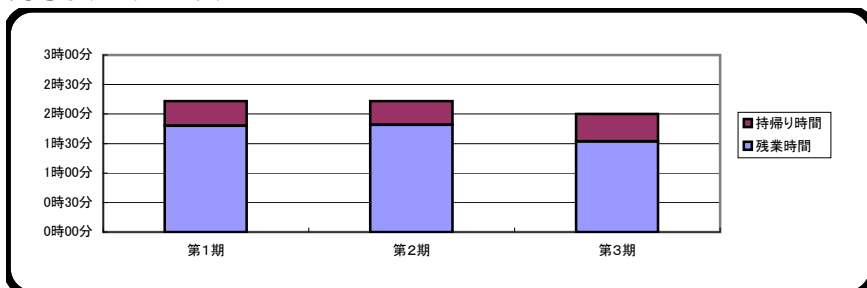
中学校



第1期 (7/3~7/30) 第2期(7/31~8/27) 第3期 (8/28~9/24) 第4期 (9/25~10/22) 第5期 (10/23~11/19) 第6期 (11/20~12/17)

時間:分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
残業時間	2:26	0:33	2:11	2:08	2:08	2:08
持帰り時間	0:25	0:14	0:19	0:21	0:20	0:24
計	2:51	0:47	2:30	2:29	2:28	2:32

高等学校（全日制）



第1期 (10/16~10/29) 第2期(11/6~11/19) 第3期 (11/27~12/10)

時間:分	第1期	第2期	第3期
残業時間	1:48	1:49	1:32
持帰り時間	0:25	0:24	0:28
計	2:13	2:13	2:00

（参考資料）文部科学省「教員勤務実態調査報告書」（平成19年3月）

Ⅲ－ 1. 教職員の状況 － (10) 教員等の定数改善の状況

国の定数改善計画（義務教育諸学校（7次改善）、高等学校（第6次改善））は平成17年度で終了。
大阪府は35人学級のために平成16年度から単独加配。

第7次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画(大阪府配当分)

年度		H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
教諭加配数	小	752	857	962	1,067	1,172
	中	513	683	853	1,023	1,193
教諭計		1,265	1,540	1,815	2,090	2,365
養護教諭加配数(小・中)		1	2	5	9	14

※前改善計画(H15～H12)からの引継分含む

※大阪市、堺市を含む

35人学級のための大阪府単独加配数

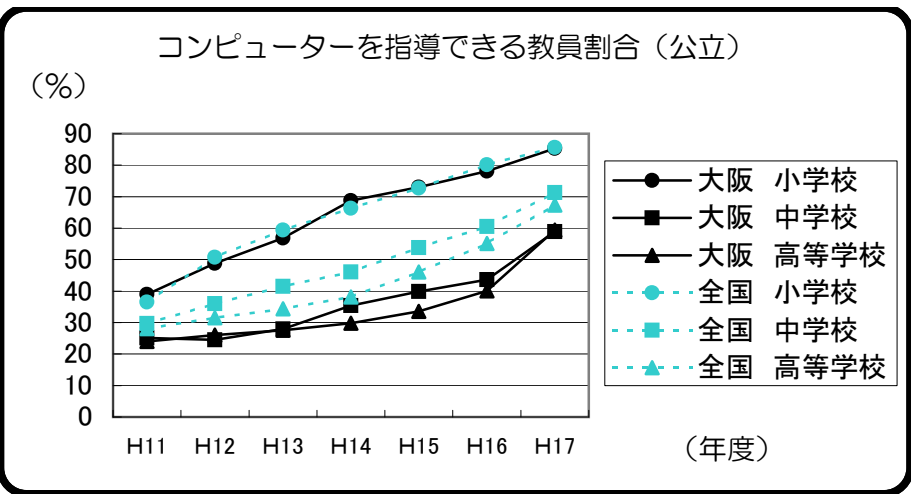
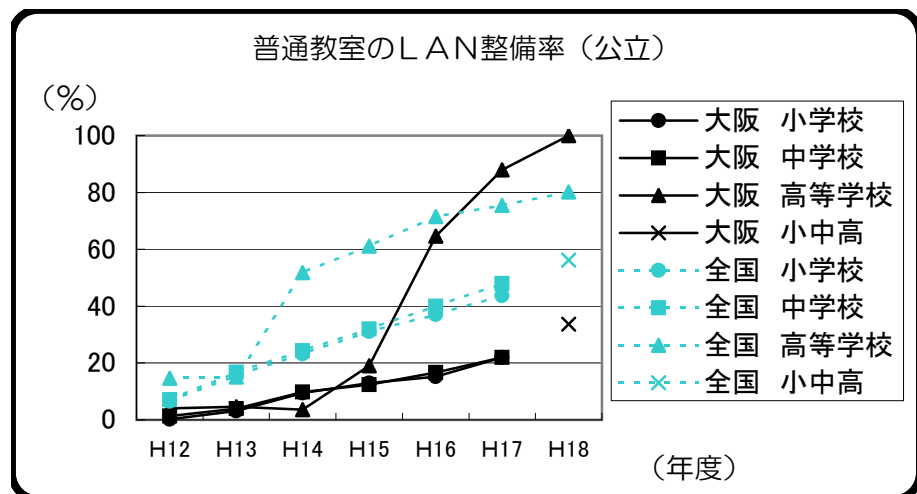
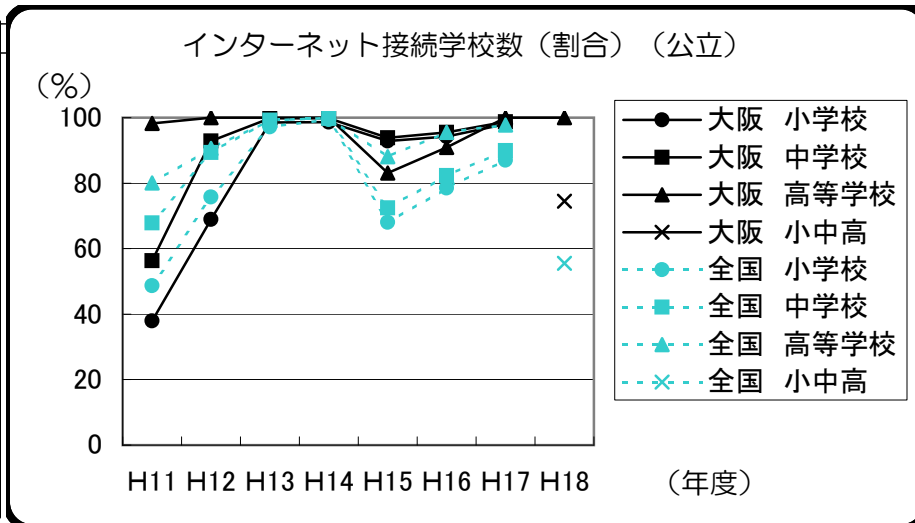
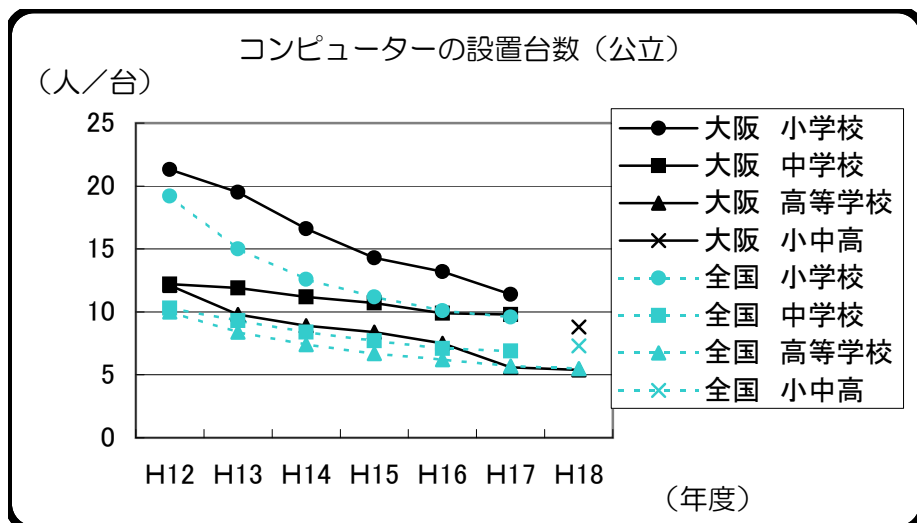
年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
教諭加配数	66	71	174	374

第6次公立高等学校教職員定数改善計画(大阪府配当分)

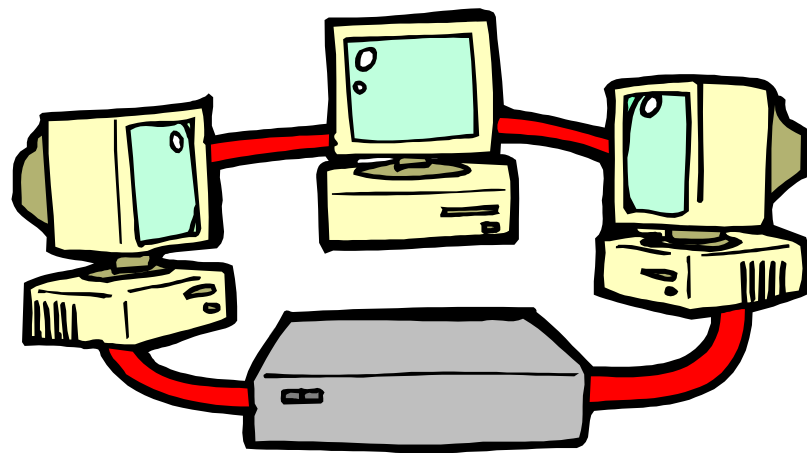
年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
教諭加配数	49	85	120	156	177
養護教諭加配数	24	39	54	69	90

Ⅲ- 2. 教育環境の状況 - (1) IT化の状況①

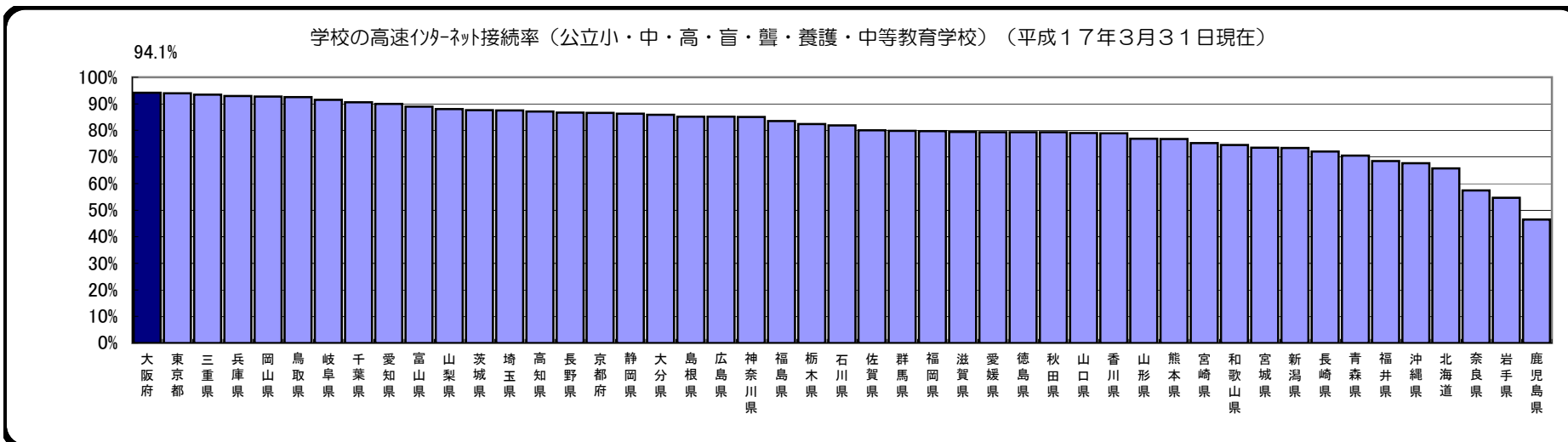
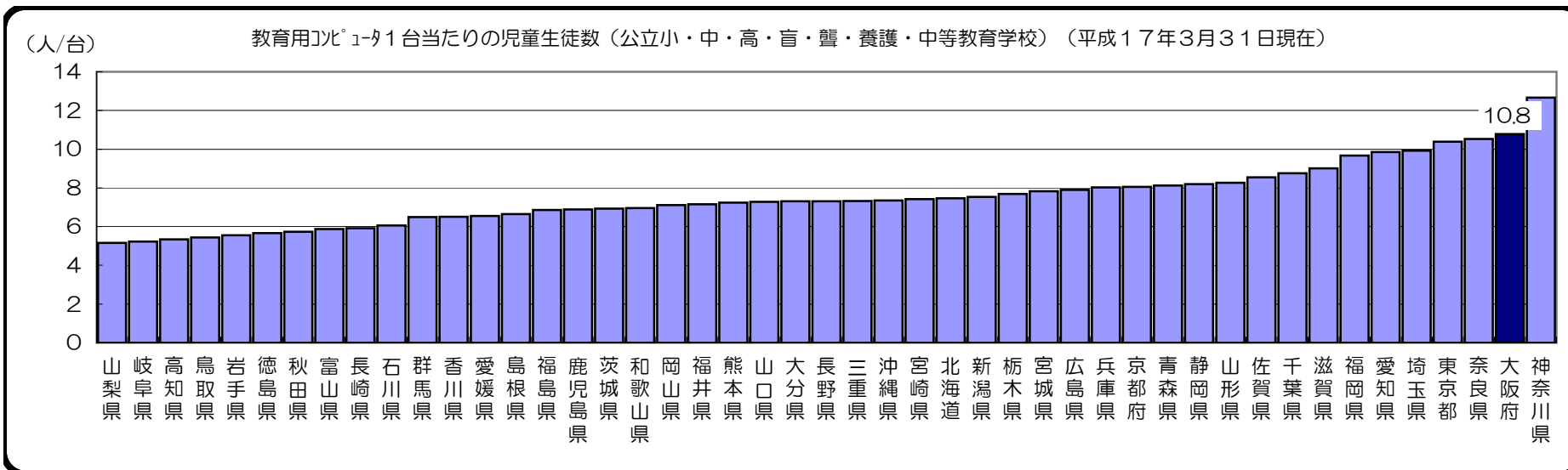
大阪府のコンピュータ設置状況やコンピュータを指導できる教員の割合は全国の中では下位。



（参考資料）文部科学省「学校における情報教育の実態等に関する調査」

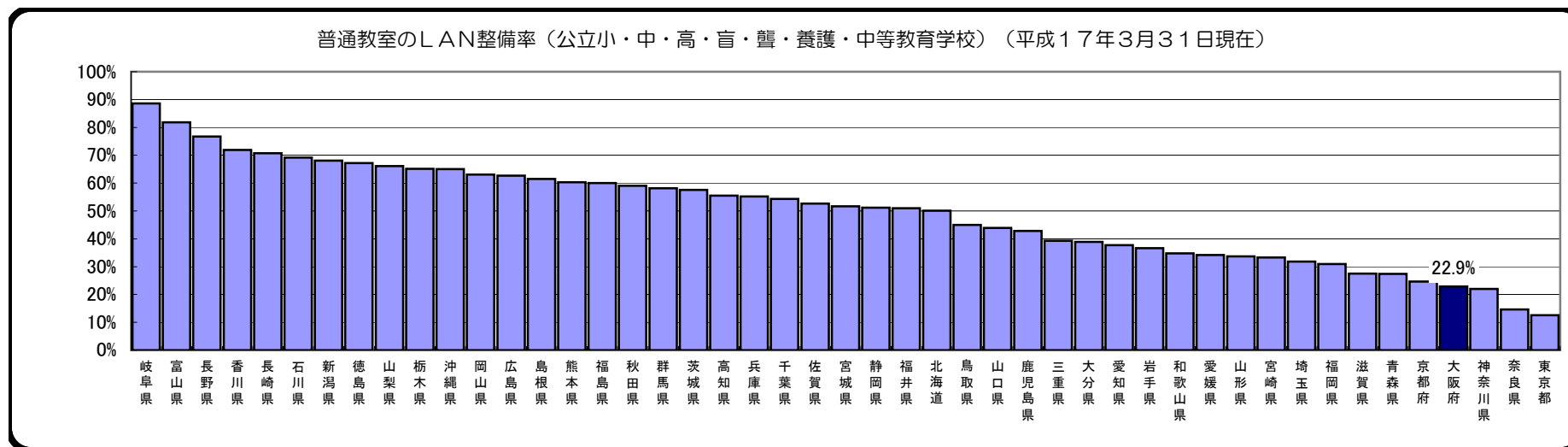


Ⅲ－ 2. 教育環境の状況 － (1) IT化の状況②

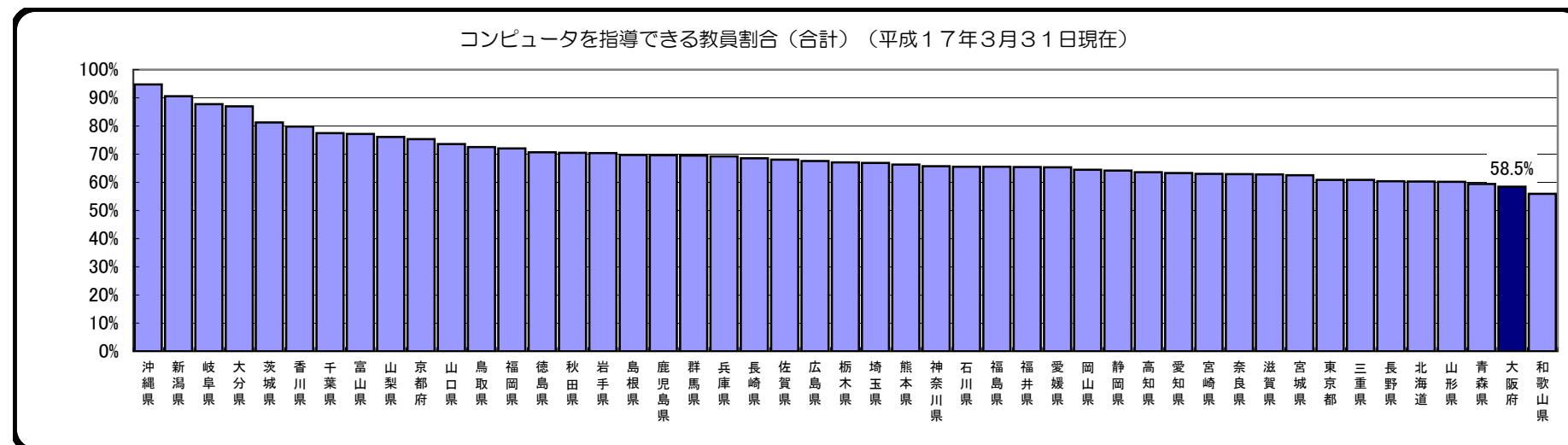


（参考資料）文部科学省「学校における情報教育の実態等に関する調査」
 ※「高速インターネット接続学校数とは、インターネット接続回線速度が400Kbps以上の学校の合計を表す。」

Ⅲ- 2. 教育環境の状況 - (1) IT化の状況③



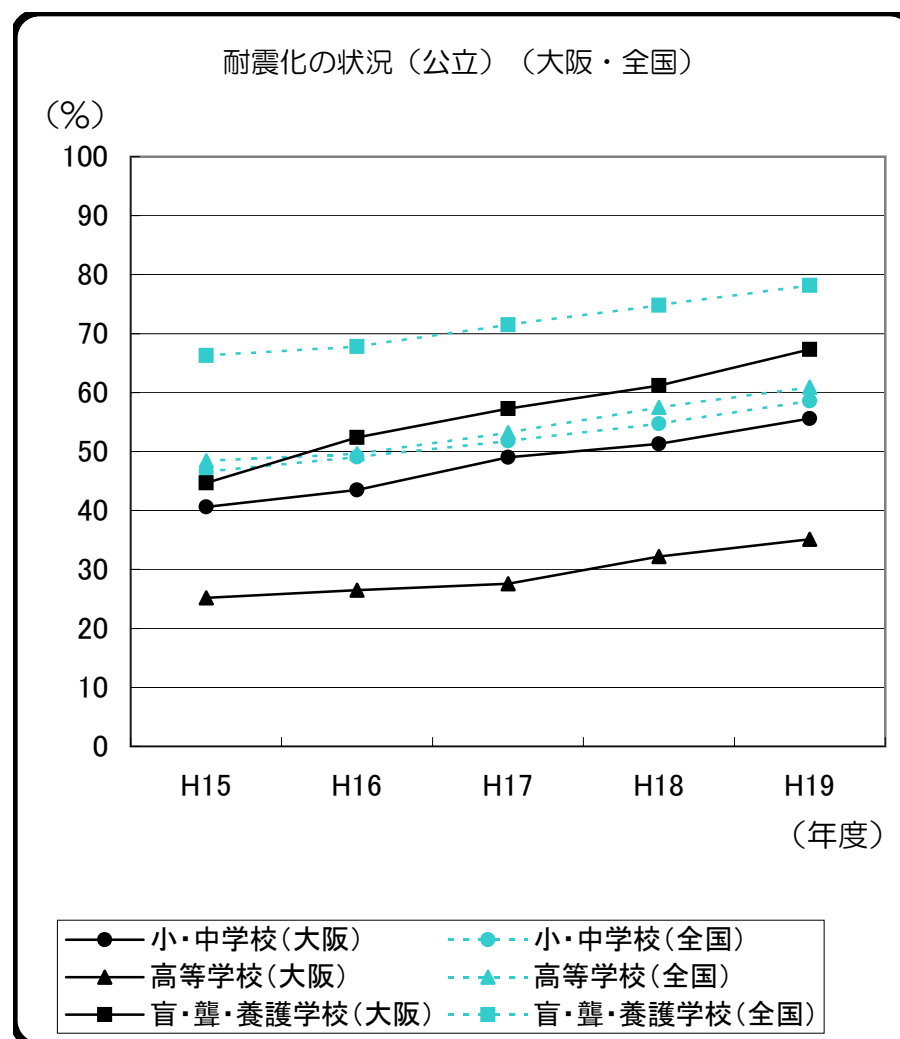
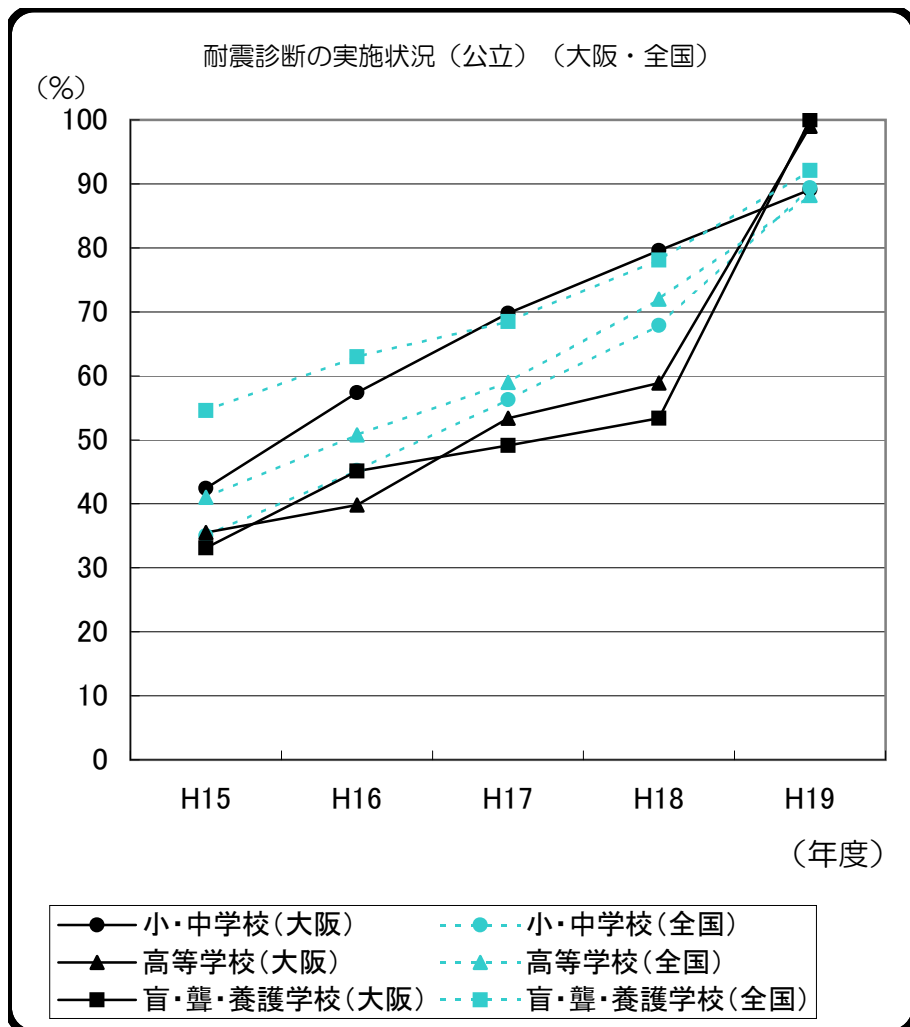
※「普通教室のLAN整備率」は、全普通教室数のうち、LANに接続している教室数の割合



（参考資料）文部科学省「学校における情報教育の実態等に関する調査」

Ⅲ－ 2. 教育環境の状況 － (2) 耐震化の状況

耐震化の状況については、小・中・高とも全国より遅れている。



(参考資料) 文部科学省「公立学校施設の耐震改修状況調査」